

(社) 東洋音楽学会 第 62 回大会  
プレトーク「震災後の民俗芸能の復興」

東洋音楽学会会員各位

東日本大震災により多くの民俗芸能が断絶の危機に直面していることを鑑み、大会プログラムの番外編として、プレトーク「震災後の民俗芸能の復興」を緊急企画いたしました。

震災後の社会復興と表裏一体をなす民俗芸能の再生の試みは、今後の日本社会における音楽芸能のあり方を考えることにもつながっていきます。このような状況において音楽研究者には何ができるのでしょうか。岩手県・陸中沿岸部の神楽復興連繋等、会員が取り組んでいる事例を紹介し、考えてみたいと思います。

非会員の方々の参加も歓迎いたします。お誘い合わせの上、ぜひご参加ください。

と き 2011年10月8日(大会第1日) 10:00~12:00

ところ 京都教育大学藤森キャンパス F12教室

京都市伏見区深草藤森町1番地

「岩手県・陸中沿岸部の神楽復興連繋」

壊滅的な打撃を受けた岩手県陸中沿岸の民俗芸能の復興を長期的に支援するために、岩手県の研究者を軸としながら、関西をはじめ全国の研究者がネットワークを形成し、現状調査、支援実施のための基盤的情報インフラ(データベース)の整備などを手始めに、復興のプログラムを神楽の担い手とともに作り、実施する。文化の復興については2つの道筋がある。ひとつは、対象文化そのものに焦点をあてた復興であり、失われた楽器や衣装、練習場所の修復・新調、発表等の機会の創出などである。もうひとつは、文化による復興である。文化を地域再生(復興)の重要なエンジンと捉え、その効果的な運用によって地域再生に資し、同時に文化を持続可能な財に復することである。本プロジェクトは、どちらかといえば、後者に主眼をおいている。

\*このプロジェクトは、中川真会員が進めているプロジェクトです。

\*震災後の民俗芸能復興にかかわる会員の皆様による活動の情報を募集しています。下記の連絡先まで情報をお寄せください。

社団法人 東洋音楽学会 第 62 回大会実行委員会事務局

〒612-8522 京都市伏見区深草藤森町1番地

京都教育大学藤森キャンパス 田中研究室気付

E-mail: toyo62taikai@yahoo.co.jp